

第2次岡崎市 文化振興 推進計画

2017(平成29)年度～2026(平成38)年度

概要版

伝統と市民文化が息づく
家康公のふるさと
岡崎

岡 崎 市

■ 策定の趣旨

岡崎市では、2006(平成18)年に「**岡崎市文化振興推進計画**」を策定し、文化芸術の振興を進めるとともに、計画期間満了後も、まちなかでのアートイベントの開催やジャズの街づくりなど、様々な施策を展開してきました。

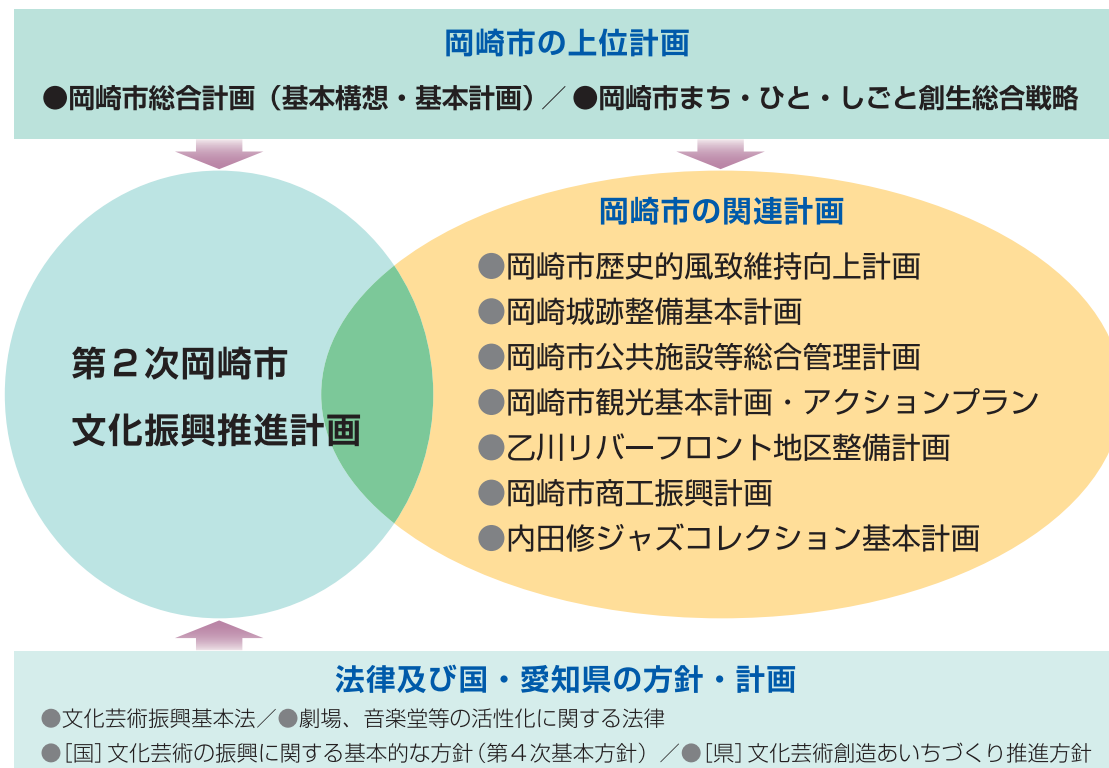
上位計画である「**岡崎市総合計画 後期基本計画**」においても、本市固有の歴史文化資産を観光資源として活用する「**重点プロジェクト1 歴史観光プロジェクト**」が掲げられ、また、2016(平成28)年7月に**市制施行100周年**を迎えたことを契機に、乙川リバーフロントエリアを中心としたまちづくりや、地域の個性を活かした取組みに公民連携で取り組んでいるところです。

国においても、これまで貸館中心であった劇場を活性化するための法律「**劇場、音楽堂等の活性化に関する法律**」が制定され、文化芸術をとりまく環境が変化しつつあります。

こうした様々な変化に対応しながら、**市民一人ひとりが豊かな文化を享受し、心豊かで質の高い生活を送ることができるまちの実現**を目指し、「**第2次岡崎市文化振興推進計画**」(以下「**計画**」という。)を策定します。

■ 計画の位置づけ

計画は、「文化芸術振興基本法」、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」及び「総合計画」の理念を踏まえるとともに、関連する計画等の施策と連携しながら、文化振興を進めるための指針を示したものです。



■ 計画期間

計画期間は、2017(平成29年度)から2026(平成38年度)までの**10年間**とします。また、社会情勢の変化や本市の状況などに合わせ、中間年度である2021(平成33)年度に見直しを行います。

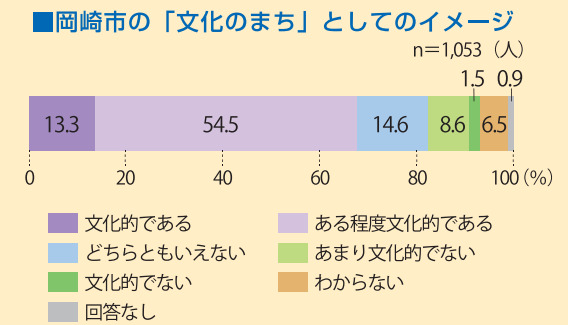
■ 文化施策の現状

本市の文化施策を担う施設や歴史文化に触れることができる施設は数多くありますが、一部の施設では**老朽化が問題となっています**。「市民会館」については大規模改修を行いました。その他の施設についても順次対応していくことが求められています。

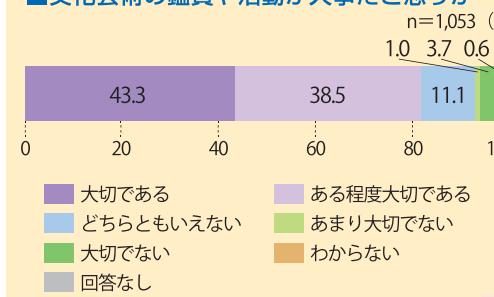
また、近年は「ジャズの街岡崎」の普及や「あいちトリエンナーレ」の地域会場となるなど、まちなかでの芸術の振興に取り組んでいます。今まで以上に**市民とともに文化芸術の振興に取り組む**ことや、身近な場で文化芸術に触れられる地域づくりに取り組んでいくことが必要です。

■ 文化に対する市民意識

多くの人が「岡崎市は文化的なまちだ」と思っており、文化芸術の鑑賞や活動について「大切である」と感じています。しかしながら、2015(平成27)年に文化芸術活動を行っている人は2割です。市民が実際の生活に文化芸術活動を取入れられるような環境づくりが求められています。



■ 文化芸術の鑑賞や活動が大事だと思うか

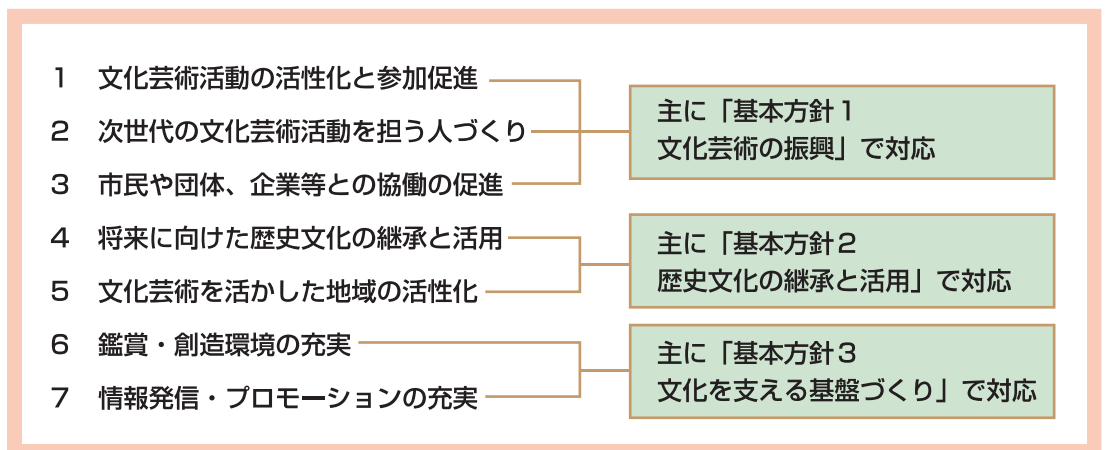


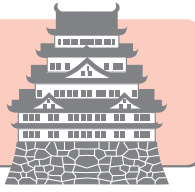
■ 文化芸術活動を行っているかどうか



■ 取り組むべき主要課題

本市の文化に関わる様々な現状や問題点、前計画の検証、市民意識調査結果などから抽出された主要課題を、以下7点に整理します。(各主要課題に対する施策の方向は次頁)





伝統と市民文化が 息づく 家康公のふるさと 岡崎

基本理念

基本目標

今後の10年間で 目指す将来像

基本方針

施策の方向と 取組内容

重点プラン

基本目標1 個性豊かな市民文化の創造

岡崎の歴史文化に深い理解と愛着を持ち、
様々な文化活動に主体的に関わる市民を育てます。

基本目標2 文化の薫り高い都市の実現

これまで伝えられてきた伝統を次世代に向けて継承しつつ、
文化芸術が薫る都市の実現を目指します。

- 《市民文化芸術》 全ての市民が、気軽に文化芸術に親しみ、自ら実践することを通じて、創造的で豊かな日常生活を送っています。
- 《創造活動》 伝統芸能から現代舞台芸術まで、創造的で質の高い文化芸術活動がまちに溢れ出し、若い芸術家もイキイキと活躍しています。
- 《地域活性化》 文化芸術を活かした観光振興や情報発信により、文化芸術都市としてのブランド力が向上し、まちが活性化しています。
- 《ひとづくり》 ふるさと岡崎に誇りと愛着をもち、新たな市民文化を拓く担い手となる子どもたちや若者が着実に育っています。

基本方針1 文化芸術の振興

施策の方向

- 1-1 文化芸術活動の活性化
 (1) 文化芸術に親しむ機会の拡充
 (2) 市民が文化活動を行う場と機会の充実
 (3) 市民が主体的に進める文化事業への支援
- 1-2 文化を創造する人づくり
 (1) 文化創造の担い手となる人材の育成・支援
 (2) 文化を享受・創造する次世代の人材の育成
 (3) 文化とまちをつなぐ人材の育成

基本方針2 歴史文化の継承と活用

施策の方向

- 2-1 歴史文化の保存と継承
 (1) 文化財などの保存と活用
 (2) 伝統文化の継承
- 2-2 歴史文化を活かしたまちづくり
 (1) 歴史文化の観光への活用



文化財の保存・活用については
岡崎市歴史的風致維持向上計画参照
(岡崎市歴史文化基本構想も策定予定)

基本方針3 文化を支える基盤づくり

施策の方向

- 3-1 文化関連施設の充実
 (1) 文化振興の拠点整備
 (2) 文化施設のネットワーク化
- 3-2 文化情報の収集と発信
 (1) 文化活動情報の収集・発信
 (2) 利便性の高い情報システム
- 3-3 文化交流の促進
 (1) 国内外の都市との文化交流
 (2) 文化団体や市民間の交流の促進
- 3-4 文化振興の仕組みづくり
 (1) 推進体制の整備
 (2) 連携と協働の推進

重点プラン1

市民会館などを核とした
専門人材の育成

重点プラン2

文化施設の整備・充実と
事業連携の強化

重点プラン3

市民や各種団体、企業等
との協働の仕組みづくり

重点プラン4

市民と芸術の距離を近く
するコミュニティアートの
展開

重点プラン5

岡崎が誇る伝統文化の次
世代継承とシビックプラ
イドの醸成

重点プラン

計画内のそれぞれの施策・事業を個別に進めるだけでなく、共通するテーマにより連動性をもたせながら推進し、相乗効果を発揮させていく戦略的な視点が大切です。以下の5つを「重点プラン」として明確に位置づけ、将来を見据えた魅力ある文化芸術振興を推進します。

重点プラン1 市民会館などを核とした専門人材の育成

取組1 ■専門スタッフの育成・確保

取組2 ■若手芸術家のインキュベーション機能*の充実

例えば…

- 日常的に文化芸術に触れあう機会が少ない市民に対して、文化芸術活動への参加を促すための高い芸術能力とコミュニケーション能力をもつ芸術家を育てることを目的として、美術や舞台芸術などの各分野において主体的に活動できる「創造スタッフ(仮称)」の育成・確保を進めます。(取組1より)

*インキュベーション機能…若手芸術家等が軌道に乗るよう支援を行う機能のこと

重点プラン2 文化施設の整備・充実と事業連携の強化

取組1 ■美術館3館の機能整理

取組2 ■ホール系施設の役割分担と市内外における事業連携の拡充

例えば…

- 美術館3館について、博物館法に適合した美術館・博物館群として、「岡崎市公共施設等総合管理計画」に基づき、計画的に機能整理及び集約化を図っていきます。(取組1より)
- 美術館3館における概ねの機能は、「美術博物館」は市の美術博物施設の中核施設、「おかざき世界子ども美術博物館」は美術博物館の子ども部門、「美術館」は美術博物館のギャラリー部門(貸館)及び絵画教室などの美術講座等を行っていく施設と位置付けます。(取組1より)

重点プラン3 市民や各種団体、企業等との協働の仕組みづくり

取組1 ■文化芸術振興に資する公募型市民企画事業の導入

取組2 ■文化団体と幅広い市民活動団体・企業等との連携促進

取組3 ■ボランティアスタッフ(コミュニティサポート)の充実

例えば…

- 広く市民に開かれた官民連携による文化芸術振興を進めるために、施設における接遇や案内、情報誌の発行などの施設運営をサポートするボランティアの育成及び組織化を進めます。(取組3より)

重点プラン4 市民と芸術の距離を近くするコミュニティアートの展開

取組1 ■まちなかを舞台にしたアートプロジェクトの充実

取組2 ■文化芸術活動拠点の発掘及びネットワーク形成

取組3 ■アウトリーチ*及び教育プログラムの推進

例えば…

- ジャズやダンスなどの舞台芸術や、あいちトリエンナーレでみられた現代美術など、既存の取組みを生かしてまち全体を舞台に展開することで、市民が気軽に触れ合ったり文化芸術の創造のプロセスに参加できる機会を数多く提供します。(取組1より)
- 地域のコミュニティ施設や民間施設などの市民生活に身近な場所で、鑑賞機会やアウトリーチプログラムなどを充実することで、文化芸術に対する興味を掘り起し、市民の生活の質の向上や地域課題の解決などを目指します。(取組3より)

*アウトリーチ…学校や地域に向いて普及啓発活動を行うこと

重点プラン5 岡崎が誇る伝統文化の次世代継承とシビックプライドの醸成

取組1 ■岡崎城等の歴史文化施設の役割分担と事業連携の拡充

取組2 ■歴史文化資産の再評価及び教育プログラムの充実によるシビックプライドの醸成

取組3 ■「ジャズの街 岡崎」の取組みの充実と地域ブランドの確立

例えば…

- ジャズコレクションを活用したセミナー開催等により情報発信力を高める一方、次世代に向けたジャズのアウトリーチ活動や育成支援を推進し、シビックプライドの醸成と文化芸術都市としての地域ブランドの向上を目指します。(取組3より)

文化施設に求められる役割

本市の文化芸術振興の核となる各文化施設の使命(ミッション)や役割を明確にするとともに、今後、それを具現化する具体的事業内容やその実施時期などをアクションプランとして整理します。文化施設に関わる人々の意見を反映しながら、施設同士の連携、観光・産業の振興の視点やまちづくりへの貢献の視点を意識した、自ら考え・行動する文化施設を目指します。

例えば…

岡崎市民会館	貸館運営中心であった市民会館について、文化芸術基本法、劇場・音楽堂等活性化法の示す方向性に基づいて、文化芸術と社会との関わり合いの創出を進めます。具体的には、市民と文化芸術の距離を近くするようなアーツマネジメントを、様々な市民組織、文化芸術団体及び企業などと協働し、市民会館が主体的、かつ創造的に行うことにより、西三河の中心都市たる岡崎市において、これまで培われてきた文化芸術活動をさらに発展させ、また、新たな文化芸術の息吹を育みます。そして、持続的で魅力ある都市を支える文化芸術の基盤構造(インフラストラクチャー)の核としての役割を担います。
岡崎市美術博物館(マインドスケープ・ミュージアム)	博物館法に基づく施設として、従来どおり、歴史、考古、民俗、美術工芸等の資料を収集し、保管し、又は展示するとともに、今後は、美術館系文化施設の中核施設としての役割を担います。ホールを有する文化施設間の連携にも寄与します。

■ 推進体制と進行管理の仕組み

計画の推進にあたっては、市民、文化団体、アーティスト、ボランティアなど、様々な主体が連携・協力し、それぞれが自主的・主体的に活動を進めながら、一体となって取り組めます。

進行管理については、行政のみならず、学識経験者や専門家等による外部評価・検証を行い、施策の内容や進め方等について適宜改善を図っていきます。



■ 数値目標

本市の最上位計画である「岡崎市総合計画」における行政評価と整合を図りながら、計画全体及び基本方針ごとに代表的な施策・事業に関する成果指標 [目標年次は2025(平成37)年]を設定します。

	成果指標	現況値 (2015・H27)	目標値 (2025・H37)
計画全体	岡崎市が文化的なまちだと思ふ市民の割合	67.8%	72.0%
	文化芸術に触れること(鑑賞・活動)が大切であると回答する人の割合	81.8%	86.0%
	過去1年間に文化芸術活動を行っている市民の割合	20.1%	25.0%
基本方針1	過去1年間に文化芸術を鑑賞した人の割合	55.3%	60.0%
文化芸術の振興	市民会館の利用者数(*現況値はH26年度) 市民会館の座席数が減少していることを考慮し、H30年度始めに値を見直します。	228,482人	240,000人
	美術館3館の合計年間利用者数(*現況値はH26年度)	316,009人	332,000人
基本方針2 歴史文化の継承と活用	「伝統文化・伝統芸能の継承」の取組みに対する市民満足度	22.6%	28.0%
	「歴史文化の観光への活用」の取組みに対する市民満足度	28.3%	30.0%
基本方針3 文化を支える基盤づくり	「文化施設の整備充実」の取組みに対する市民満足度	23.0%	28.0%
	「文化活動団体への支援」の取組みに対する市民満足度	10.7%	15.0%

発行：岡崎市 文化芸術部 文化総務課
* H29年度組織改正により社会文化部文化振興課となります。

発行日：2017(H29)年3月

〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地
TEL：0564-23-6615 FAX：0564-23-6343